

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！

国鉄西日本動力車労働組合（動労西日本）結成に 動労革マル松崎大ショック

日刊 動労千葉

87. 6. 12

No. 2574

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九二五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

六月七日、ついに国鉄西日本動力車労働組合（動労西日本）が結成され、危機にのたうつ動労革マルに痛打を与えた。すべての組合員は、「動労千葉とたたかう国鉄労働者を励まし連帯する6・20集会」へ結集し、動労革マル―鉄道労連解体のたにかいに全力で立ちあがろう。



「労使共同宣言」路線と決別し、結成をかけた動労西日本（6月7日）

「絶対的対立」の 動労革マル―鉄労

動労西日本結成は、まぎれもなく動労革マル松崎に大打撃を与えている。今年に入ってから松崎は、権力・当局への忠誠の証として、三月二〇日に、元警視総監・夬野と対談し、さらにその四日後の二四日には勝共連合機関紙「世界日報」に登場し「ストライキをさせない。これは私の使命感」と、国鉄労働運動の破壊を宣言した。

しかし、革マル松崎と鉄労との対立が「絶対的対立」になり、両者の関係は事実上空分解してしまっているのだ。すでに盛岡では、東鉄労盛岡地連が分解するまでに至っており、熊本での「革マルとの関係をはっきりしろ」という申し入れ等々、事態は決定的である。

鉄道労連解体は勝利に不可欠

この革マル松崎の危機は、動労の内部にも深刻な対立を生み出している。岡山では「労使共同宣言」に反対する組合員

が、革マル役員によって告訴されるといふ事態が発生し、水戸地本前委員長と退職金をめぐって裁判されたくなるほど革マル支配はガタガタになっているのだ。

動労西日本の結成は、危機に直面し、のたうつ革マル松崎に心臓をえぐるほどの大ショックを強制し、同時に、全国で動労革マルのファシスト支配に怒りを燃やし、奮闘する多くの動労組合員に、動労総連合への結集の勇氣と展望を与えたのだ。

動労革マル―鉄道労連解体こそ国鉄決戦勝利に不可欠の条件なのだ。

動労総連合への結集軸が継続と生まれ発展している。さらに拡大しよう。

「動労千葉とたたかう国鉄労働者を励まし連帯する6・20集会」へ結集せよ。

駅でがんばる仲間達①

千葉運行部内の駅では、非番、公休を返上し、オレンジカード売り、駅舎のペンキ塗り等の「タダ働き」が日常的に強制されている。当局は「グリーン作戦」と名うって小集団を使い、



勝和幸 千葉駅でがんばる仲間達
浦支部出身の

「便所掃除」「駅のペンキ塗り」等をやらせようとしている。一度屈服したら骨までしゃぶりつくす、これが当局だ。

職場から引っぱがされ、駅へと強制配転された仲間を激励し、守りぬこう！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！